

しょくもつけいこう ふ か し けん 食 物 経 口 負 荷 試 験



アレルギーが疑われる食物を実際に食べて、
症状を観察する検査です。

- どのくらいの量を食べたら、どんな症状が出るかを確認することができます。
- 血液検査で陽性でも、経口負荷試験で食べてみると何も症状がでないこともあります。その場合、除去していた食物を食べていけるようになります。
- 多量食べると症状が出て、少量なら何も症状が出ない場合もあります。安全に食べられる量が確認できれば、少しずつ食べていける可能性があります。
- 検査中にアレルギー症状が出た場合、病院で速やかに対処します。その場合は、検査を中止して、薬を飲んだり、点滴で薬を入れたり、場合によっては入院をします。

検査の流れ

診察時

1. 検査の説明を受け、日程を決める。
2. 持参品（検査する食品など）や注意点などを確認する。
3. 検査日の予約をして帰る。

検査当日

1. 検査時間の 15 分前に来院する。
2. 持参品を提出する。
3. 体温や血圧などを測り、診察をする。
4. 同意書にサインをする

<日帰り入院の場合（火曜日・木曜日の 9 時からと木曜日の 14 時から）>

60 分ごとに、分割した食品を何回か食べ、観察をする。

最後に食べた後 2 時間様子を見て終了。（最初に食べてから、約 3 時間で検査終了）

検査後、今後の話を聞き、次回診察の予約をして帰る。